

子ども家庭支援センター

港区こどもまんなか宣言及び児童虐待防止事業について

1 背景

区は、令和3年4月に、児童相談所、子ども家庭支援センター及び母子生活支援施設が一体となった港区子ども家庭総合支援センターを開設しました。

開設を契機として、地域や企業等と連携した啓発に加え、子育て支援の充実や迅速な調査、指導など、児童虐待防止に向けて積極的に取り組んできました。

しかし、全国的に増加し続ける児童虐待相談件数と同様に、区の児童虐待相談件数も年々増加傾向にあります。

区は、すべての子どもの安全・安心を守るため、児童相談所設置市となって5年目の節目に「港区こどもまんなか宣言」（令和7年9月1日付）を行い、児童虐待ゼロをはじめ、子どもの人権を最優先に守るという強い姿勢を区内外に示します。

また、この宣言を踏まえ、11月のオレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン月間を中心に、区の地域資源を生かした啓発活動を強力に推進します。

2 港区こどもまんなか宣言の内容（資料番号8—2参照）

この宣言は、社会全体で子どもの人権を守り、すべての子どもが幸せを実感できる国際都市・港区の実現を目指すため、子どもの権利条約の理念を踏まえ、次の4つの柱を掲げています。

- (1) 児童虐待のない港区の実現
- (2) すべての子どもが尊重され、安全・安心が守られる港区の実現
- (3) 子ども一人ひとりの声を尊重する港区の実現
- (4) すべての子どもが健やかに成長できる港区の実現

3 啓発活動の主な内容

- (1) オレンジリボンDAY@minato2025～子どもを守る地域のきずな～  
日時 令和7年11月23日（日）正午～午後6時30分（予定）  
会場 東京タワー及び区立芝公園
  - ・東京タワーのライトアップ  
児童相談所虐待対応ダイヤル「189」にちなんで、18時9分に東京タワーをオレンジ色にライトアップ
  - ・オレンジリボンをモチーフとしたキャンドルナイト

- ・地域の子どもによる演奏やワークショップ 等
- (2) オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン月間期間中の啓発
- ・商店街や大型商業施設と連携したデジタルサイネージでの表示
  - ・障害者就労支援施設でのオレンジリボン焼き菓子の販売
  - ・本庁舎のオレンジライトアップ
  - ・区立保育園等でのオレンジリボンライト点灯 等
- (3) オレンジリボン×みなトクPAYポイント還元キャンペーン
- 推進月間からの継続的な啓発として、ポイント還元率を一時的に引き上げ、その周知、利用を通じてオレンジリボンの意義、児童虐待防止や地域全体で子どもを守る意識の醸成を図るとともに、みなトクPAYの利用促進にもつなげます。
- 実施期間 令和7年12月1日～12月31日
- 対象店舗 港区商店街連合会の加盟店舗及び賛助会員店舗（約1,200店舗）
- 還元率 下表のとおり

利用店舗	通常ポイント還元率	キャンペーンプラス還元率	合計還元率	還元上限/人
区商連加盟の中小個店	2%	+18%	20%	7千円分
区商連加盟の大型店舗 及び 区商連賛助会員のうち中小個店	2%	+3%	5%	3千円分
賛助会員の大型店舗	2%	—	2%	1千円分

#### 4 事業規模

124,097千円

#### 5 今後のスケジュール（予定）

令和7年 9月	令和7年第3回港区議会定例会（補正予算案の提出）
10月中旬	区民へ周知
11月～	各啓発活動実施
12月～	オレンジリボン×みなトクPAYポイント還元キャンペーン実施

## 港区こどもまんなか宣言

すべての子どもが幸せを実感できる国際都市・港区へ

子どもは、まちの希望であり、未来を創造するかけがえのない存在です。

すべての子どもは、一人ひとりの違いや個性、価値観が尊重され、自分らしく健やかに育ち、幸せに暮らせる権利を持っています。

多くの人が行き交い、多様な文化が調和する国際都市・港区において、すべての子どもが、未来への夢と希望を持ち、笑顔あふれる幸せな生活を送ることが、私たちの願いです。

区は、社会全体で子どもの人権を守り、すべての子どもが安全・安心と幸せを実感できる国際都市・港区を実現するため、次のことを宣言します。

### 1 児童虐待のない港区を実現します。

区民、関係機関、地域が一体となり、児童虐待の未然防止、早期発見・早期対応の体制を強化するとともに、地域ぐるみの子育て支援を充実し、児童虐待ゼロに向けて不断に取り組みます。

### 2 すべての子どもが尊重され、安全・安心が守られる港区を実現します。

国籍や文化の違い、家庭環境や障害の有無等にかかわらず、子ども一人ひとりの違いや個性、価値観を尊重し、あらゆる差別やいじめ、暴力から子どもを守ります。

### 3 子ども一人ひとりの声を尊重する港区を実現します。

子どもの意見や考えに耳を傾け、子どもが多様な社会活動へ参画する機会を充実させることで、子どもとともに、子どもの視点を踏まえた区の施策やまちづくりを推進します。

### 4 すべての子どもが健やかに成長できる港区を実現します。

年齢及び発達に応じて多様な学びや体験の機会を充実させることで、子どもが能力を伸ばし、自分の強みを生かして今を最もよく生き、将来の可能性を広げられる環境をつくれます。

令和7年9月1日 港区